

アグリサイエンスバレー推進チーム 予算書P137 金額50,000千円

目的

地域全体で農業の6次産業化に向けた取り組みを中心に、農作物や物産の販売拠点とし、市内に利益を還元するとともに、地域企業や公共施設との連携、市内地域資源が相互に繋がるネットワークを形成し、地方創生に向けた拠点づくりを目指す道の駅を整備する。

内容

2022年度末の開業を目標に、基本設計・実計設計の業務を行う。施設整備計画、道路管理者（茨城県）との一体整備協議及び補助金申請時の施設概要等に必要な業務である。

基本設計：建築や都市計画などの設計過程で、条件に合うように基本的な事項を決定し、図面・仕様を作成する。工事費の概算が明らかにされ、実施設計のもとになる。

実施設計：基本設計に基づいて、工事の実施及び工事費の内訳明細書の作成ができる段階まで、設計図書を詳細化する。